

目次

イントロダクション	6
-----------	---

1. ハングルは文字のなまえ 2. ハングルの書き方 3. 語順がほぼ同じ

韓国の文化・習慣、ハングル文字と発音編

第1課 初対面のやりとりその1	ハングルの母音字母	8
第2課 初対面のやりとりその2	発音器官をもとにつくられた子音字母 その1	10
第3課 韓国のファッション	発音器官をもとにつくられた子音字母 その2／濁音化	12
第4課 食と味	激音と濃音	16
第5課 住居の特徴	ハングルの「ん」と「っ」	18
第6課 漢字語数詞と日付	ハングルのヤ行とイエ／韓国の祝日／お金の数え方	20
第7課 数え年と満年齢／固有数詞	ハングルの「ワ」「ウィ」「ウェ」「ウォ」	24
第8課 天気と体調	発音の規則〈終声の初声化／ㄱ弱化〉	26
第9課 公共交通機関事情	発音の規則〈鼻音化／濃音化〉	28
第10課 道案内	発音の規則〈激音化／口蓋音化〉	30
第11課 飲食店	発音の規則〈流音化 流音「ㄹ」の鼻音化／ㄴ音挿入〉	32
	漢字音の対応／日本語のハングル表記／職業・趣味・旅行アイテム／場所／夏休み／이열치열（以熱治熱）	

文法編

第1課 パッチム有無によって使い分ける助詞	38
1. 主語を表す助詞「-가/-이」(～が／～は／～に／～では)	SNS で用いられる用語
2. 「～は」を表す助詞「-는/-은」(～は)	体の部位
3. 目的を表す助詞「-를/-을」(～を／～が／～に／～の)	
4. 手段、方法、材料、理由、方向、変化、資格を表す助詞「-로/-으로」(～で／～に／～から)	
第2課 パッチム有無関係なく接続できる助詞	40
1. 「-까지」(～まで／～までに)	
2. 「-에서」場所の起点(～から)と「-부터」時、順序の起点(～から)	

3. 前後の内容で使い分ける「-에게」「-에」	
4. 「-의」(～の) 5. 添加「-도」(～も) 6. 「-하고」(～と) 7. 「-보다」(～より)	
所要時間、手段、目的地の尋ね方と答え方	
第3課 体言の終結語尾(です).....	44
丁寧形体言語尾／ 国名 親族語彙 ／体言の過去形	
第4課 用言の終結語尾.....	46
〈改まった形〉「합니다体」／用言の否定形／〈打ち解けた形〉「해요体」／用言の過去形／理由を表す／時刻／曜日と日時／ 日課に関する語句 疑問詞 副詞	
第5課 連体形.....	52
動詞、存在詞の現在連体形／動詞の過去連体形／形容詞の現在連体形	
第6課 変則用言(으変則、르変則、ㅁ変則、ㅂ変則、ㅅ変則、ㅈ変則、ㅊ変則)とㄷ脱落...	54
第7課 3つの文法タイプ.....	58
1. 用言語幹に直接接続する文法	
〈1〉希望「-고 싶-」(～たい)	
〈2〉確認「-지요」(～でしょう)	
〈3〉逆接「-지만」(～けど)	
2. 語幹がパッチムの際は「으」を挿入、母音語幹には直接接続できる文法	
〈1〉予定「-ㄹ게요/-을게요」(今から～する予定です。)	
〈2〉条件「-면/-으면」(と／ば／たら／なら)	
〈3〉尊敬の意を表す「-시/-으시」(れる／られる)	
3. 語幹の母音が「ㅏ, ㅗ」の時は「아」を付け、「ㅓ, ㅜ」以外の時は「어」を付ける文法	
〈1〉語幹 + 「-봤어요」(ことがあります) 経験	
〈2〉語幹 + 「-주세요」(ください) 依頼	
〈3〉語幹 + 「-도 돼요?」(～もいいですか) 許可	

韓国の文化・習慣、ハングル文字と発音編

第1課 初対面のやりとり その1

初対面、目上の方の前では（朝昼夕）、안녕하십니까?[アンニョンアシ m ニッカ]

相手によっては、안녕하세요?[アンニョンアセヨ]

語尾に?が付くのは안녕が「安寧」という漢字語で하십니까? 하세요? (ございますか) は聞き手の安否を伺う表現なので?が付いています。

普段、お目にかかる目上の方には、お昼時であれば점심[チョ m シ m] (昼食) 드셨습니까? [トゥショッス m ニッカ] (召し上がりましたか)、または점심[チョ m シ m] (昼食) 먹었어요?[モゴッソヨ] (食べましたか/食べました) と、食事したかどうかのやりとりが挨拶表現として用いられています。

食べたいのに食べていない時は、못 먹었어요.[モンモゴッソヨ] (食べていません)

점심 (昼食) 을아침[アッチ m] (朝食)、저녁[チョニョ k] (夕食) に入れ替えるといつでも尋ねることができます。

자기소개[チャギソゲ] (自己紹介) は、まずはじめに

반갑습니다.[パンガ p ス m ニダ] (お目にかかれてうれしいです。)

自分の名前を聞き手に伝える時は、フルネーム + 입니다.[イ m ニダ] (です。)

苗字からフルネームで伝えましょう。聞き手に自分の名前を覚えてもらうには、

呼んでもらいたい呼び名 + 라고 불러 주세요.[ラゴ プルロ ジュセヨ] (～と呼んでください。)

謝る時は、죄송합니다.[チェソンア m ニダ] (すみません、申し訳ございません。)

感謝の時は、감사합니다.[カ m サ m ニダ] または、고맙습니다.[コマ p ス m ニダ] (有難うございます。)

죄송합니다を感謝を示す場面では使えませんので、感謝する時は、감사합니다または고맙습니다と言いましょう。

ハングルの母音字母



1. ㅏ [a] 日本語の [あ] より唇を大きく開けながら [あ]
2. ㅣ [i] 日本語の [い] と同じ
3. ㅜ [u] 日本語の [う] より唇を丸めながら [う]
4. ㅡ [ɯ] 唇を横に引いて歯を見せながら [う]
5. ㅓ [e] 日本語の [え] と同じ音
6. ㅕ [ɛ] 日本語の [え] より大きく唇を開けながら [え] 会話の中では5.と同じ発音で構いません。
7. ㅗ [o] 日本語の [お] より唇を丸めながら [お]
8. ㅛ [ɔ] 唇を縦に開けながら [お]

ア行、ヤ行、ワ行を表す時は○を左側、または上に付けるので、口をはっきり動かしながら発音してください。ノートにも覚えるまで書いて練習しましょう。

아 이 우 으 에 애 오 어と表記します。

7. ㅗ [u] と 3. ㅜ [o] は間違いやすい文字です。7.は唇を丸めながらㅗ [お]、3.も唇を丸めながらㅜ [う] と発音します。宇宙は韓国語で우주 [ウジュ] といいます。「宇」と「우」を見比べてみてください。漢字の一部とハングルが同じ形をしていませんか。「高、考、陶、島、雨、迂、羽」という漢字の中にもハングルが隠れていませんか。これらの漢字とハングル文字は偶然、一部が同じ形であるだけですが、7. ㅗ [u] と 3. ㅜ [o] を見分けるため、文字の発音と形を覚えるための手がかりとしてみてはいかがでしょうか。ちなみに韓国語の絵文字で語尾の後の「ㅏㅏ」(泣く時、辛い時)、「ㅓㅓ」(悲しい時)を表します。日本語で涙が溢れそうな時「うるうる」と言いますが、韓国語で「泣いています」は울어요「ウロヨ」といいます。

＜ポイント＞

母音が日本語より多い理由は「え」と「あ」の間をとってㅕ [ɛ]、「あ」と「お」の間をとってㅛ [ɔ]、「い」を発音する時のように唇を横に引きながら「う」ㅡ [ɯ] があるからです。二つの色が組み合わさって全く別の色になるように母音は「い、あ、う」の3つの音が基になっています。

＜到達確認＞ 8つの母音字母を何も見ないで読み書きできるようになりましたか。

文法編

「する」、「おもしろい」など用言は語尾が付いて活用した形を知らなければ、聞く時、話す時、訳す時に困ります。文法を理解することで、ますます韓国語が面白くなるでしょう。

第1課 パッチム有無によって使い分ける助詞

子音字母と母音字母の組み合わせた形の下についた子音字母を「パッチム」といいますが、助詞が付く直前の名詞が「パッチム」有無で形が変わる助詞と、名詞の直後に付ける助詞に分かれます。パッチム有無によって使い分ける助詞は以下の通りです。

1. 主語を表す助詞「-가 / -이」(～が／～は／～では／～に)

名詞が母音字母で終わる時は「-가」パッチム(子音字母)の時は「-이」を付けます。

例) 영화가 (映画が) 사진이 (写真が)

SNS で用いられる用語

<練習> 次の語彙の後に「-가 / -이」のどちらが付くかノートに書いて練習しましょう。
계정 (アカウント) 비밀번호 (パスワード) 채팅 (チャット) 무료 통화 (無料通話) 유저 (ユーザー)
검색 (検索) 투고 (投稿) 삭제 (削除) 화제 (話題) 해시태그 (ハッシュタグ) 사진발 (写真映え)
동영상 (動画) 구독 (チャンネル登録) 댓글 (コメント) 팔로우 (フォロー) 팔로워 (フォロワー)

母音字母の後では「-가 ～が」と発音・意味が同じため、パッチムの後でも付けることがあります。「-가 / -이」は「～が」の他に、自分が知らない情報を尋ねる時「～は」体言の否定形「아니예요」(ありません)が後続する時は「～では」「되다」(なる)が後続する時は「～に」の意味で用いられます。

<練習> () に当てはまる韓国語「-가 / -이」と日本語(が／は／に／では)を入れましょう。

- 1) 날씨() 좋아요. 天気() いいです。
- 2) 눈() 아파요. 目() 痛いです。
- 3) 취미() 뭐예요? 趣味() 何ですか。
- 4) 이름() 뭐예요? 名前() 何ですか。
- 5) 대표() 됐어요. 代表() になりました。
- 6) 여기() 아니예요. ここ() ありません。

2. 「～は」を表す助詞「-는/-은」(～は)

母音字母で終わる名詞の後は「-는」パッチムの時は「-은」を付けます。

例) 손은 (手は) 귀는 (耳は)

体の部位

<練習> 次の語彙の後に「-는/-은」を使い分け、その後、例)のように何か語句を付けてみましょう。

例) 어깨는 (肩は) 괜찮으세요? (大丈夫ですか。) 괜찮아요. (大丈夫です。)

얼굴 (顔) 눈 (目) 코 (鼻) 입 (口) 이 (歯) 혀 (舌) 목 (喉首) 팔 (腕) 가슴 (胸)
등 (背中) 배 (お腹) 허리 (腰) 무릎 (膝) 다리 (脚) 발 (足)

3. 目的を表す助詞「-를/-을」(～を／～が／～に／～の)

母音字母で終わる名詞の後は「-를」パッチムの時は「-을」を付けます。



- 例) 1. 動作の対象を表す時は「～を」 밥을 (ご飯を) 주세요. (ください。)
2. 好み、得意分野を表す時は「～が」 독서를 (読書が) 좋아해요. (好きです。)
3. 動作性名詞の後では「～に」 친구를 (友達に) 만나요. (会います。)
4. 「위해 (～ために)」が続く時は「～の」 건강을 위해 (健康のために) 운동해요. (運動しています。)

<練習> () に当てはまる韓国語「-를/-을」と日本語の助詞(を／が／に／の)を入れましょう。

- 1) 펜() 좀 빌려주세요. ペン() 貸してください。
2) 노래() 못해요. 歌() 苦手です。
3) 춤() 잘 춰요. 댄스() 得意です。
4) 쇼핑() 가요. 쇼핑() 行きます。
5) 고기() 좋아해요. 肉() 好きです。 6) 안전() 위해 安全() ため

4. 手段、方法、材料、理由、方向、変化、資格を表す助詞「-로/-으로」(～で／～に／～から)

母音字母またはㄹで終わる名詞には「-로」、ㄹ以外のパッチムの時は「-으로」を付けます。



例) 전철로 (電車で) 가요. (行きましょう。) 이층으로 (2階に) 내려가세요. (降りてください。)
문틈으로 (窓の隙間から) 벌레가 (虫が) 들어왔어요. (入ってきました。)

<練習> () に韓国語「-로/-으로」と日本語の助詞(で／に)を入れましょう。

- 1) 말() 설명해 주세요. 言葉() 説明してください。
2) 백반() 할게요. 定食() します。
3) 전라도는 홍어요리() 유명해요. 全羅道はガンギエイ料理() 有名です。